

令和5年年度事業報告書

特定非営利活動法人Darshan

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人Darshanは愛知県日進市および名古屋市の小学生と中学生を対象に、デジタル技術を活用した創造活動「Minecraftカップ」を実施しました。このプロジェクトは、参加者に持続可能な社会について考える機会を提供し、Minecraftを使用して環境や社会問題をテーマにした作品を作成することで、自己表現と協働のスキルを育成しました。この取り組みにより、子どもたちはテクノロジーを通じて創造的な問題解決能力を高めると同時に、チームで協力して課題に取り組む重要性を学びました。

さらに、社会教育事業の一環として、親子で参加するルービックキューブ体験会を開催しました。この活動は、ルービックキューブを解く過程で子どもたちが数学的な思考や論理的な解決策を学ぶことを促しました。また、保護者には子どもたちが遊びを通じて学ぶ重要性と基礎学力の必要性についての認識を深める機会を提供しました。この事業により、学びの楽しさと教育への関心が家庭内で高まる効果が見られました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

ア Minecraftカップ支援事業

(ア) 事業内容

デジタルなもののづくりを通じて可能性に挑戦できる「Minecraftカップ」に参加するために、小学生、中学生を集め、大会のテーマである「誰もが元気に安心して暮らせる持続可能社会について」を考え、Minecraftでの作品作りを通して、自己表現やチームワークを学ぶサポートを行った。

(イ) 開催日時及び講師等

日時	場所	テーマ	従事者	参加者
10月3日から 10月31日	オンライン	誰もが元気に安心して暮らせる持続可能な社会 ～クリーンエネルギーで住み続けられるまち～	正会員2名	一般市民 3名 (小学生2名・中学生1名)

(ウ) 費用

事業費合計 7,394円

(内訳)

通信費 7,394円

(エ) 収益

参加費 7,500円 (会員1,500円×1名 非会員 3,000円×2名)

イ 社会教育事業

(ア) 事業内容

社会教育事業として、子どもたちと保護者に向けてルービックキューブ体験会を開催した。この活動は、ルービックキューブを解く過程で子どもたちが数学的な思考や論理的な解決策を学ぶことを促した。また、保護者には子どもたちが遊びを通じて学ぶ重要性と基礎学力の必要性についての認識を深める機会を提供了。この事業により、学びの楽しさと教育への関心が家庭内で高まる効果が見られた。

(イ) 開催日時

令和6年3月24日 (日曜日) 13:00～15:00

(ウ) 会場

村瀬商事ビル2F

(エ)講師及び従事者

講師 星野利夫(外部講師)、会場設営・受付要員6名(正会員3名・ボランティア3名)

(オ)受講者

20名(非会員大人9名、子ども11名)

(カ)費用

41,990円

(内訳)講師謝金15,000円、テキスト代6,600円、スタッフ旅費交通費6,000円、

消耗品費14,390円

(キ)収益△41,990円(参加費無料)

ウ リテラシー教育事業

本年度は実施せず。

(2)その他の事業に係る事業

本年度は実施せず。

3 会議の開催に関する事項

(1)総会

ア 通常総会

(ア)開催日時及び場所

令和5年11月18日19:00～20:00 代表理事事務所(愛知郡東郷町春木白土1-1257)

(イ)議題

①令和5年度事業計画の承認について

②令和5年度予算の承認について

③令和5年度活動予定について

(2)理事会

ア 第1回理事会

(ア)開催日時及び場所

令和6年1月20日13:00～16:00 副理事事務所(名古屋市天白区原1丁目412番地村瀬商事ビル2階)

(イ)議題

①組織運営について

イ 第2回理事会

(ア)開催日時及び場所

令6年2月17日18:00～20:00 カルナータカ2F(名古屋市名東区豊ヶ丘1809)

(イ)議題

①令和5年度の事業について